

第3次香川県がん対策推進計画を推進するための各団体等の取組みについて

分野別施策 (個別目標)	令和4年度の取組み (見込み)
科学的根拠に 基づくがん予 防・がん検診 の充実 (がん 発症予防の推 進)	<p>香川県薬剤師会</p> <p>○喫煙防止出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来、学校薬剤師を中心に“子供たちに喫煙させない学校教育”に取り組んできた。喫煙防止教育では、タバコのタールに含まれる発がん物質について触れている。さらに、薬物乱用防止教育でもタバコのニコチンを依存物質として紹介し、同時にタバコの発がん性についても話をしている。 ・令和4年度も、薬物乱用防止及び喫煙防止教育を通じ、がんについての教育を進めていきたい。 <p>香川県看護協会</p> <p>○まちの保健室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デーと合せたたばこに関する正しい知識の普及啓発や「まちの保健室」による望ましい生活習慣や食習慣の啓発活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況を見ながら縮小開催又は中止としている。
科学的根拠に 基づくがん予 防・がん検診 の充実 (がん の早期発見・ 早期治療の推 進)	<p>香川県総合健診協会</p> <p>○がんに関する正しい知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月4日～5日、サンポート高松ディスクガレリアと多目的広場で、がん患者やそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧を目指すという RFLJ (リレー・フォー・ライフ・ジャパン) の活動の一つであるリレーイベントを、RFLJ かがわ高松とともに、リアルとオンライン発信の両方で開催した。 ・7月17日、丸亀町レッツホールや丸亀町壱番街ドーム広場等で、子宮頸がん検診の大切さと HPV ワクチン接種について若い世代に楽しく学んでもらうことを目的として、啓発グッズを配布するとともに、講演会等をリアルとオンライン発信の両方で開催した。 ・9月のがん征圧月間に合わせて、集団がん検診会場で、受診者に禁煙についての啓発グッズを配布し、禁煙を呼びかける予定。 ・10月のマンモグラフィーサンデーに合わせて、当日の受診者に、乳がん検診や子宮頸がん検診の啓発グッズを配布予定。
患者本位のが ん医療の実現	<p>各がん診療連携拠点病院等</p> <p>○国の新たな指針に基づくがん医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点病院等では、国の指針に基づき、安心かつ安全で質の高いがん医療を提供できるよう、がん医療の均てん化に取り組んでいる。 ・国の整備指針では、診断時からの痛み等のスクリーニング、必要に応じがんセンターボードへの多職種参加、AYA 世代 (思春期・若年成人世代) のがん患者のニーズの確認等について記載され、これらに基づくがん診療を実施している。

分野別施策 (個別目標)	令和4年度の取組み (見込み)
<p>尊厳を持って 安心して暮ら せる社会の構 築</p>	<p><u>がん患者会ネットワークかがわ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 各患者会の状況把握とともに、県や関係機関からの情報を各患者会に共有している。 がん患者会ネットワークかがわのホームページの管理を行っている。 7月31日に「がん患者会ネットワークかがわ第5回講演会」を開催し、県が開催するピアサポート研修に繋げた。 <p>(各患者会の取組み)</p> <p><u>さぬきの絆</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談 2021年度の実績52件 メール・グループライン・ショートメール等を利用して会員様やその他の方と相談も実施。必要時他の患者会や相談支援センター、いのちの電話、対がん協会の電話相談等を紹介。 広報「絆だより」で、がん・コロナ関連の情報や講演会等の案内等を掲載(年4回発行)。2021年・2022年度は、がん検診の受診を勧める情報を多く掲載。 リレーフォーライフの実行委員として参加。 2022年度も、コロナ感染が減少するまで、上記同様の活動を予定。 <p><u>あけぼの香川</u></p> <ul style="list-style-type: none"> がん患者等に対する相談委託業務 電話相談業務 代表個人の電話による相談(随時) がん患者等による相談業務 相談会やおしゃべり会での相談(月1回) 専門家等による相談業務 乳がん相談会 年3回(6・9・2月) <p>※今年度もコロナ禍のためオンラインでのみ相談を実施</p> <p><u>肺がん患者サロン なでしこ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン交流会・相談会・セミナーの開催 全国の肺がん患者・家族・医療従事者と連携して、オンライン交流会や相談会、専門家によるセミナー(年4~5回)等を開催。令和4年度セミナーは、次のとおり。 ① 6/19(日)「自分の検査結果は自分で管理しよう『自己情報コントロール権』という考え方」(講師：善通寺診療所所長 藤原高明先生) ② 7/31(日)は、がん患者会ネットワークかがわ第5回講演会を企画・運営 ③ 8/21(日)「がん患者さんが活用できる社会福祉制度、福祉サービスについて」(講師／川崎医科大学附属病院MSW 高橋誉文氏) <p>10月以降に薬剤師によるセミナーを計画中。 ホームページ (https://lc-nadeshiko.jp/) で情報発信している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 癌治療学会等が主催する研修会や学会等への参加 国がん研究C「患者市民パネル」(2名)、認定がんナビゲーター、両立支援コーディネーター、ピアサポーター養成講座、がん教育外部講師研修など各種研修会に参加することで正しい知識のもとに患者会活動を実施したい。

分野別施策 (個別目標)	令和4年度の取組み (見込み)
<p>尊厳を持って 安心して暮ら せる社会の構 築 (続き)</p>	<p><u>高松赤十字病院 笑美の会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑美の会通信を年4回作成及び発送。講演会等の案内や正しい情報の伝達。 ・リモート等による、勉強会や交流会を実施。 <p><u>香川がん患者おしゃべり会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者等に対する相談委託業務 電話及びライン相談、希望者に対して面談による相談を行っている。AYA 世代が相談しやすい環境づくりのために、サロンでのお茶会や Zoom によるオンラインサポートを行っている。(BEC 乳がん体験者コーディネーター) <p><u>香川喉友会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声練習を2か所で行っている。 (高松教室：県総合リハビリセンターで月3回火曜日、丸亀教室：丸亀市保健福祉センターで月3回金曜日。ともに午後1時半から約1時間) ・今はコロナの状況をみながら実施している。 <p><u>特定非営利活動法人 未来 ISSEY</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がん学習・復学支援として、以下の事業を実施。 ・会いたいをつなげる「つながロボット貸出事業」 ・今を支えるグッドブラザー (学生ボランティア) による学習・復学事業 ・ともにつくる「映像・絵本作成事業」 ・不安に寄り添う「心のサポート事業」 ・つたえる「講演・広報事業・HP で情報発信事業」
<p>がん対策を支 える基盤の整 備</p>	<p><u>香川県看護協会</u></p> <p>○がんに関する研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は現場の要望等を踏まえ、がん看護として、11月「がん患者・家族の意思決定支援」、12月「看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和」、令和4年1月「ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働・連携」をテーマに研修会を開催した。延べ46施設から129名が参加した。 ・今年度は、「がん患者・家族の意思決定への支援」「がん薬物療法の治療を受ける患者・家族への日常生活支援」「地域での療養支援と看取りを実現するための看護介入QOLの維持向上」の研修を企画している。 ・新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら開催方法等は検討する。 <p>○がん教育ゲストティーチャーへの協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、香川県健康福祉部から中学校でのがん教育実施におけるゲストティーチャーの推薦依頼があり、看護師等24名を紹介した。 ・今年度は、小・中学校19校26クラスから要望があり、21名のがん看護専門看護師等を推薦した。専門職としての役割を担う予定。